



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社

コード番号 4574 URL <http://www.seirogan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柴田 高

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 吉川 友貞

TEL 06-4391-0330

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	7,207	△8.1	2,528	△3.4	2,743	1.0	1,804	△5.9
26年3月期第3四半期	7,845	34.4	2,619	102.4	2,717	101.9	1,918	53.8

(注)包括利益 27年3月期第3四半期 1,801百万円 (△9.9%) 26年3月期第3四半期 1,998百万円 (59.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	141.73	138.42
26年3月期第3四半期	149.95	145.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	16,982	12,339	72.3
26年3月期	16,622	11,406	68.2

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 12,280百万円 26年3月期 11,342百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,900	△10.5	2,200	△15.1	2,350	△12.4	1,500	△14.1	117.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	13,525,700 株	26年3月期	13,388,500 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	799,579 株	26年3月期	390,179 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	12,733,463 株	26年3月期3Q	12,793,847 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。平成27年2月12日付にて、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下、当第3四半期）の売上高は、医薬品事業が前年同期と同水準でありましたが、感染管理事業が減少となったことから、対前年同期比637百万円減（8.1%減）の7,207百万円となりました。医薬品事業につきましては、国内向けが減少した一方で、海外向けが香港・中国市場中心に増加致しました。また、感染管理事業につきましては、第1四半期における出荷減少や返品の影響から対前年同期比で減少となりましたが、第3四半期（10月～12月）におきましては前年同期を上回って推移しております。なお、売上総利益につきましては返品調整引当金戻入益の計上や円安効果もあり対前年同期比38百万円増（0.7%増）の5,524百万円となりました。

当第3四半期の販売費及び一般管理費につきましては、医薬品事業における広告宣伝及び販売促進の強化、感染管理事業における人員増強等による研究開発費の増加等から、対前年同期比128百万円増（4.5%増）の2,995百万円となりました。

これらの結果、当第3四半期の営業利益は対前年同期比90百万円減（3.4%減）の2,528百万円となりましたが、為替差益の計上等により、経常利益は対前年同期比26百万円増（1.0%増）の2,743百万円となりました。四半期純利益は投資有価証券売却益を計上しておりますが、法人税等調整額の増加もあり、対前年同期比113百万円減（5.9%減）の1,804百万円となりました。

セグメント別の業績につきましては以下の通りであります。

(医薬品事業)

医薬品事業につきましては、海外向けが増加したものの国内向けが減少となったことから、売上高は対前年同期比61百万円減（1.4%減）の4,395百万円となりました。

国内向けの売上高につきましては、『正露丸』が横這いとなり『セイロガン糖衣A』が減少となったことから、対前年同期比を下回る結果となりました。

海外向けの売上高につきましては、中国市場における出荷は当第3四半期では数量ベースでは減少となりましたが、円安効果を受け、海外向け全体では対前年同期比で増加となりました。なお、通期では数量ベースでも前年を上回る出荷を見込んでおります。

セグメント損益につきましては、円安効果等により売上総利益が増加した一方で、販売費及び一般管理費における広告宣伝及び販売促進の強化、セグメント別売上構成比の増加に基づく人件費配賦率の上昇等により、対前年同期比150百万円減（7.2%減）の1,955百万円となりました。

(感染管理事業)

感染管理事業につきましては、売上高は対前年同期比576百万円減（17.1%減）の2,794百万円となりました。

一般用製品の売上高につきましては、前第1四半期において発生した特需の反動及び当第1四半期において一時的に発生した返品等の影響から、累計では対前年同期比で減少となりました。なお、第2四半期（7月～9月）には最需要期に備えた小売店からの受注が好調に推移し、第3四半期（10月～12月）においては季節性インフルエンザ等感染症流行を背景に前年同期を上回る結果となりました。

業務用製品の売上高につきましては、消費者庁関連報道の影響からの回復に時間を要しているため、対前年同期比で減少となりました。

セグメント損益につきましては、販売費及び一般管理費において開発部門の人員増強等により研究開発費が増加したものの、売上総利益において返品調整引当金戻入益を計上した影響から、対前年同期比23百万円増（1.7%増）の1,431百万円となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行い、売上高は前年同期とほぼ同額の17百万円となった一方、セグメント損益は対前年同期比4百万円減の18百万円の損失（前年同期は13百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は16,982百万円（前連結会計年度末比360百万円増）となりました。また、負債合計は4,643百万円（同572百万円減）、純資産合計は12,339百万円（同932百万円増）となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は、売上債権増加の一方で現金及び預金の減少等による流動資産1,927百万円の減少、有形固定資産の増加等による固定資産2,287百万円の増加、未払法人税等及び未払金の減少等による流動負債622百万円の減少、また、自己株式取得の一方で利益剰余金増加等による純資産932百万円の増加等であります。なお、自己資本比率は前連結会計年度末から4.1ポイント上昇し72.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成27年2月5日に公表致しました予想値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

なお、この変更による影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,543,337	4,039,778
受取手形及び売掛金	2,177,566	4,635,814
商品及び製品	855,281	1,185,092
仕掛品	613,910	554,384
原材料及び貯蔵品	236,414	223,779
その他	492,048	368,746
貸倒引当金	△17,500	△34,000
流動資産合計	12,901,059	10,973,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	948,313	949,852
機械装置及び運搬具(純額)	318,855	288,604
土地	1,323,068	1,323,068
建設仮勘定	48,188	2,391,133
その他(純額)	218,483	226,869
有形固定資産合計	2,856,909	5,179,528
無形固定資産	34,762	24,512
投資その他の資産	829,663	805,077
固定資産合計	3,721,334	6,009,118
資産合計	16,622,393	16,982,714
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	496,975	427,523
未払金	1,746,066	1,000,510
未払法人税等	907,231	694,215
返品調整引当金	346,000	214,000
賞与引当金	242,567	64,619
役員賞与引当金	121,588	—
その他	286,909	1,124,274
流動負債合計	4,147,337	3,525,143
固定負債		
長期末払金	562,700	562,700
退職給付に係る負債	478,568	518,657
その他	27,642	37,145
固定負債合計	1,068,910	1,118,502
負債合計	5,216,248	4,643,646
純資産の部		
株主資本		
資本金	286,717	337,365
資本剰余金	197,946	248,594
利益剰余金	11,030,219	12,509,944
自己株式	△281,714	△921,777
株主資本合計	11,233,168	12,174,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,036	—
為替換算調整勘定	69,750	106,212
その他の包括利益累計額合計	109,787	106,212
新株予約権	63,189	58,729
純資産合計	11,406,145	12,339,068
負債純資産合計	16,622,393	16,982,714

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	7,845,229	7,207,791
売上原価	2,097,736	1,815,251
売上総利益	5,747,492	5,392,539
返品調整引当金戻入額	267,000	346,000
返品調整引当金繰入額	528,000	214,000
差引売上総利益	5,486,492	5,524,539
販売費及び一般管理費	2,867,423	2,995,692
営業利益	2,619,069	2,528,847
営業外収益		
受取利息	2,917	4,563
受取配当金	1,721	1,883
為替差益	83,701	202,148
受取賃貸料	6,225	5,801
その他	5,245	4,554
営業外収益合計	99,812	218,951
営業外費用		
賃貸費用	473	473
支払手数料	—	1,593
解体撤去費用	—	1,549
その他	773	285
営業外費用合計	1,246	3,901
経常利益	2,717,635	2,743,896
特別利益		
投資有価証券売却益	—	58,176
新株予約権戻入益	7,017	—
特別利益合計	7,017	58,176
税金等調整前四半期純利益	2,724,652	2,802,073
法人税、住民税及び事業税	949,463	831,298
法人税等調整額	△143,185	166,091
法人税等合計	806,277	997,390
少数株主損益調整前四半期純利益	1,918,375	1,804,683
四半期純利益	1,918,375	1,804,683

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,918,375	1,804,683
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,897	△40,036
為替換算調整勘定	71,969	36,461
その他の包括利益合計	79,867	△3,575
四半期包括利益	1,998,242	1,801,107
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,998,242	1,801,107
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成26年5月20日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が640,062千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が921,777千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,457,452	3,370,521	17,255	7,845,229	—	7,845,229
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,457,452	3,370,521	17,255	7,845,229	—	7,845,229
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	2,106,597	1,408,162	△13,450	3,501,309	△882,239	2,619,069

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,395,595	2,794,392	17,802	7,207,791	—	7,207,791
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,395,595	2,794,392	17,802	7,207,791	—	7,207,791
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	1,955,937	1,431,434	△18,117	3,369,253	△840,406	2,528,847

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。